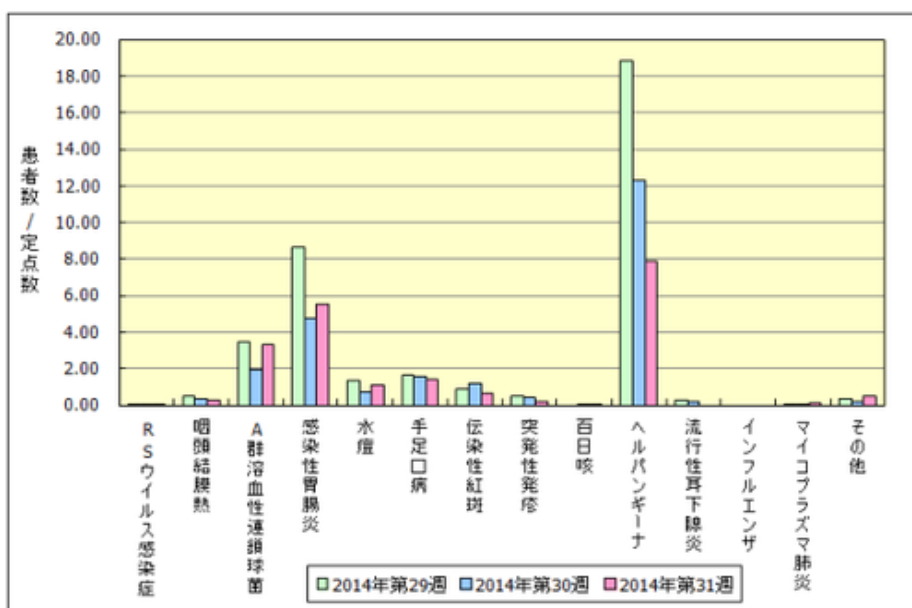


## 第31週(7月28日～8月3日)の集計結果

### コメント

#### 【今週の傾向】

○ヘルパンギーナが、定点あたり7.9と減少していますが、依然高い状況は続いています。  
 飛沫・接触感染のため、十分な手洗いとうがいを徹底してください。  
 発症から2～4週間は、便の中にウイルスが含まれていますので、トイレの後やオムツ交換後は、しっかりと手洗いをしましょう。



第31週疾患毎発生状況グラフ

	2014年 第26週	2014年 第27週	2014年 第28週	2014年 第29週	2014年 第30週	2014年 第31週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	2↓	1↓	2↑	1↓	1→	1→	0	0	1	0
咽頭結膜熱	13↓	9↓	8↓	7↓	5↓	4↓	1	1	2	0
A群溶血性連鎖球菌	98↑	74↓	67↓	49↓	27↓	46↑	19	13	11	3
感染性胃腸炎	165↑	138↓	112↓	121↑	67↓	77↑	35	20	16	6
水痘	28↓	16↓	23↑	19↓	10↓	15↑	9	2	1	3
手足口病	6↑	6→	42↑	23↓	22↓	20↓	3	0	14	3
伝染性紅斑	22↑	26↑	28↑	12↓	16↑	9↓	3	3	1	2
突発性発疹	12↓	9↓	12↑	7↓	6↓	3↓	1	0	2	0
百日咳	1↑	1→	1→	0↓	1↑	1→	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	20↑	53↑	153↑	264↑	172↓	110↓	31	8	50	21
流行性耳下腺炎	0↓	4↑	6↑	4↓	3↓	0↓	0	0	0	0
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2↓	0↓	1↑	1→	1→	2↑	0	0	0	2
その他	4→	1↓	3↑	5↑	3↓	7↑	0	1	6	0

第31週疾患毎発生状況表

第31週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
～11ヶ月	0	0	1	6	1	4	0	0	0	14	0	0	0	1
1歳	0	0	2	18	3	2	0	1	0	30	0	0	0	2
2歳	0	0	3	8	2	4	1	1	0	23	0	0	0	0
3歳	0	2	9	7	2	0	0	1	0	16	0	0	0	1
4歳	0	0	11	4	1	4	2	0	0	5	0	0	1	0
5歳	0	0	7	12	2	3	4	0	0	6	0	0	0	0
6歳	0	1	5	2	1	1	1	0	0	6	0	0	1	1
7歳	0	0	2	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
8歳	0	0	0	4	2	1	1	0	0	3	0	0	0	1
9歳	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
10～14歳	0	0	3	6	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0
10～12歳											0			
13～14歳											0			
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	4	46	77	15	20	9	3	1	110	0	0	2	7

第31週年齢別発生状況表

#### 地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部  
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部  
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部  
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野  
由井事務所